

## 【幼保小連携通信】

保育課・学校教育課  
幼保小連携担当

# 夢に向かって挑戦する子ども

令和7年度  
1月14日 No.12

小学校・義務教育学校の  
先生方も

## 幼保小連携研修にぜひご参加ください！

### 幼保小連携研修



【日時】1月29日（木）15:00～17:00

【対象】市内保育者（幼保小連携担当）  
市内小学校・義務教育学校希望者

【開催方法】オンライン

【内容】「幼保小の協働による架け橋期の教育の充実について」

【講師】RISSHO KID' S きらり岡本  
園長 坂本 喜一郎 氏

【申込み】市内小学校・義務教育学校希望者のみ  
1月21日（水）〆切

※お問い合わせは保育課まで（769-8313）

保育課では、1月29日（木）に幼保小連携研修を開催します。お知らせしていますとおり、小学校・義務教育学校の先生方もご参加いただけます。昨年度は11校、幼保小連携担当や1学年担任だけではなく、校長・副校長・教務主任・養護教諭・生活科主任など、多くの先生方が参加し、園の先生方とともに架け橋期の教育の充実について学びました。今年度も続々とお申込みいただいております、この機会を使って、6月の実施時同様、小学校に集まって一緒に受講しよう、協議会を開催しようとしている地区もあるようです。

今回の講師である坂本先生は、小学校教諭・幼稚園教諭を経て園長になられており、園校両方の立場・視点から、幼保小連携についてお話しくださいます。1学年担任・幼保小連携担当でなくても、一度、参加してみませんか？

幼保小連携担当となり、勉強したいと思って参加した。難しく考えていた架け橋プログラムだが、面白そう！やってみよう！と思った。同じ題材で、園小で活動や授業を行ってみるのも面白そう。

～昨年度の振り返りより～

園で感じてきた「やってみよう」という思いが、失われていくと聞いたことがある。見通しをもって課題解決をしていく過程は園小でもつながっていること。総合的な学習の時間の主任として、つながりのある授業をつくっていきたい。

学校の教育活動が、園での経験・活動からどうつながっていくかをきちんと知り、つなげていこうとする必要があると感じた。

授業参観に来ていただいたが、やはり園も参観しないといけない。お互いの理解がまだ足りないと思っている。もっと連携を進めたい。

架け橋プログラムが18歳までを支えるものになると気づいた。年長と小1だけで行われる、関わるという意識だったが、そうではない。全職員と関わる方法を検討し、子ども・先生同士の交流も深められたらいい。